



食欲の秋

川西町の新米を



東京川西会々長
森田 光雄
(大塚)

今年も異常な天候に悩まされました。6月は関東を中心に日差しの乏しい梅雨寒が続きました。今年は「冷夏の可能性」という記事もあり思い出すのは平成5年の冷害です。米不足を受けて緊急輸入されたタイ米と田舎から送ってもらったコメを交互に食べた記憶があります。

一転して七月後半からは猛暑が続きました。四〇度を越える気温が各地で観測され、熱中症で9万人以上が搬送され、災害級と呼ばれた昨年と比べると今年は我慢できる暑さだったのかなと思うこの頃です。

今年の稲作はどうなのでしょう。七月二十七日、朝日新聞の天声人語欄に川西町の浦田英明さんの記事が掲載されました。たぶん豆の展示会

でお会いした玉庭の方と思いますが、「穂肥」の記事です。穂肥とは稲の穂が茎の中で育ち始める時期に施す肥料だそう。穂肥とは「人に例えるなら、稲は秋の出産に備える女性。夏バテを防ぎ、体力をつけるための栄養」で、穂肥の成否で味や収穫量も変わるという。

手をかければかけるほど味は良くなり、まく時期やまく量の判断は、農家の腕の見せどころだという。稲に触れ、葉の色や茎の膨らみを丹念に観察し晴れが続くか、暑すぎないか天候を見極める外、ユリが咲いたか、タチアオイの背丈が伸びきったかなど他の植物の姿も合図になるといふ。熟練の農家でも穂肥には迷い、稲に問いかけるそうで、米作は人と稲が対話しながら進む共同作業だといふ。

暦ではもう食欲の秋です。みずみずしく、ふつくらと粒が輝く新米を味わえることを期待し、当会最大の行事「芋煮会」にも是非ご参加ください。お待ちしております。

「いも煮会」のご案内を6ページに掲載しています。

初めて総会に お邪魔して思うこと



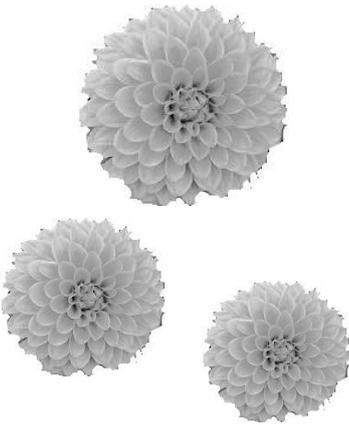
川西町副町長
山口 俊昭

アルカディアの里「東京川西会」会員の皆様、如何お過ごしのことでしょうか。

今年の5月19日、主婦会館プラザエフにて開催されました「通常総会」の場に初めて参加させて頂きました。際は大変お世話になり、ありがとうございました。どうぞございました。

これまで、会員の皆様とは秋川溪谷での「芋煮会」や、毎年、遠路ふるさとまでお越しいただいております。「かわにし夏まつり」、「地酒と黒べこまつり」において何度もお会いしておりますが、今回初めて総会の場にお邪魔させて頂いたとき、多くの皆さんと親しくお話をさせて頂き、皆で肩を組みなながら歌を唄い、皆様のおふるさと川西に対する強い思いを肌で感じながら会場を後にし、川西に戻って参りました。そうした皆様の強い故郷への思いに対し、故郷に暮らすものとして、この「ふるさと川西」をどのように想い描き、進んでいくべきかを改めて考える機会を

頂いたと感じております。昭和30年に3万人でスタートしました人口は、現在、丁度半分の1万5千人となっております。人口の減少は抗い難い現実と捉えざるを得ない部分もありますが、川西町に暮らす一人ひとりが、幸せと感じられるまちづくりを旨としてまちづくりを推進しなければと考えております。そのためにも、故郷に思いを馳せ、故郷を見つめ、望まない故郷のニュースも含め、先ずは事実として受入れ、喜んだり、悲しんだり、不満が募ったりなど、東京川西会の皆様をはじめとする、本町を故郷とする多くの皆様が見つめている今日の川西町であることを、しっかりと心に刻み、故郷を守り、故郷を心豊かなアルカディアとなれるよう努めて参りたいと思います。どうか皆様、心熱くし故郷を見つめ、叱咤激励と溢れる慈愛をもって今後ともよろしくお願いたします。



川西町の最新情報

▼今年も大盛り上がり！「川西夏まつり」

令和元年8月11日に「大輪輝く令和の幕開け」をテーマに、川西夏まつりが開催されました。今年も多くの方に足を運んでいただき、東京川西会の皆様にもご来場いただきました。皆様の夏の思い出として心に残るお祭りになっていれば幸いです。本当にありがとうございます。

○お問い合わせ：町まちづくり課 0238 (42) 6613

▼今年で5周年を迎えます。「山形かわにし豆の展示会」



12月6日から8日までの3日間、これまで同様上野桜木あたりで山形かわにし豆の展示会が開催されます。おかげさまで5周年を迎える豆の展示会。今年も多くの方々と盛り上げたいと考えています。昭和の雰囲気味わいながら川西町の文化と一緒に体験してみませんか。皆様のご来場、心よりお待ちしております。



○お問い合わせ：やまがた里の暮らし推進機構 0238 (54) 3006

▼「ダリアの華展」が開催されます。

10月4日から6日までの3日間、池袋サンシャインシティアルパ B1 噴水広場にて第9回ダリアの華展が開催されます。ダリアの展示や販売、ワークショップなど盛りだくさんの

内容となっております。観覧は無料です。ぜひご来場ください。

○お問い合わせ：町まちづくり課 0238 (42) 6668

▼「ふるさと北区 区民まつり」に川西町から出店します！

昨年東京都北区岩淵町でのイベント出店を機に、北区の皆様と交流を深めてきました。区内最大級のイベントに出店させていただくということで、川西町からは厳選された特産品を皆様に提供したいと考えています。ふるさと北区 区民まつりは10月5日・6日に赤羽公園にて開催されます。ぜひお越しください。

○お問い合わせ：町まちづくり課 0238 (42) 6668

▼空き家を活用しませんか？

町では、町内の遊休空き家をホームページで紹介し、借りたい人とのマッチングを図る空き家バンク事業を行っています。詳しい登録手続き等はお気軽にご相談ください。

○お問い合わせ：町まちづくり課 0238 (42) 6613

▼町 Facebook に「いいねー」

町では情報発信の一環として Facebook ページ「山形県川西町」を積極的に活用しています。ページに「いいねー」していただくと、みなさんのお手元へ町のイベント情報や季節の話題などが随時届きます。スマートフォンでも手軽に利用が可能です。ぜひご利用ください。

○お問い合わせ：町まちづくり課 0238 (42) 6668

第三十三回総会を終えて



総会実行委員長
墨田区在住
須貝 利喜夫
(大塚)

令和に入り初の東京川西会総会実行委員長を担当しました大塚地区出身の須貝と申します。

五月十九日に開催されました総会では多大なるご協力をいただき、紙面をお借りして感謝申し上げます。例年よりも多くの方々にご参加いただき、また川西町からもご来賓をお迎えできましたことを大変光栄に存じます。

総会では2018年度の事業報告、決算報告、監査報告及び2019年度予算計画、事業計画が満場一致で承認されました。



山口副町長はじめ、ご来賓の皆様からご挨拶をいただいて開始です。



この中で、会員の増減数が発表され現状維持が伝えられました。どの会も会員数維持にご苦労されているとお聞きするなか、東京川西会に高い関心をお寄せいただいていることを、誇らしく感じました。とはいえ、ピーク時に比べますと減少傾向にあるのも事実です。「ここに参加されている皆さんが先頭に立ち、新規会員の獲得に務めましょう」という目標も確認されました。

総会では、「福祉募金」も行われ、参加者の皆様から暖かい募金が寄せられました。川西町の福祉事業に少しでも寄付できることは、この総会の大きな目的でもあると確信しました。後半では懇親会があり、地酒や料

信頼を基に地域を開発する



川西町商工会

〒999-0121
山形県東置賜郡川西町大字上小松1736-2
電話 (0238)46-2020 Fax (0238)46-2022
E-mail:kawanisi@shokokai-yamagata.or.jp

川西ダリヤ園
今 見頃です

- 9/21・22・23 東北ダリヤ名花展
- 10/13 全国玉こんにゃく選手権2019
- 11/4 ダリア切り花収穫デー

川西町観光協会 Tel:0238-54-1515
川西ダリヤ園 Tel:0238-42-2112



皆様のご芳志を副町長に寄託



理に舌鼓を打ちながら、交流を深めることができました。カラオケもあり、とても賑やかな時間でした



お楽しみ抽選会で豪華賞品を授与

川西町から取り寄せたお土産品も完売してしまいました。私も購入したかったのですが、来年に楽しみを持ち越したいと思います。

私は東京川西会の会員になり四年目を迎えますが、参加して気づいたことがあります。親友が入会しているある県の地域県人会が間もなく解散するというのを聞きました。三十三年間の歩みがこれからも続く東京川西会に入会できたことは“とても幸せ”なことだと。東京と故郷を繋ぐ本会を大事にして行きたいと。皆様と来年の総会でもお会いできますことをご祈念申し上げ、第三十三回定例総会のご報告とさせていただきます。



カラオケタイム、スタート！！



アルカディアの里 東京川西会に寄せて

桶川市在住

有野 三男

(大塚)



全員で「ふるさと」の大合唱

日頃、幹事の皆様方、また会員の皆様方には大変お世話になっております。

東京川西会への入会は、会長の森田光雄様と花回廊ようざんろーど会で同席の際おさそいを受けまして、2017年よりお世話になっております。

年に一、二回は田舎に帰って、墓参り季節の買物、友人等との交流、温泉泊等で楽しんでおりますが、東京川西会があることは知りませんでした。

東京川西会に入会させて頂き皆様のお話を伺い、また総会ではいつも川西町町長様・副町長様、関係議員様、関係役員様より故郷の現況報告等を直接お聞きでき、大変感銘を受け、とても懐かしく楽しい時間を過ごすことができました。

私にとって川西町は、小学、中学時代が強く心に残っている場所です。第二の故郷として末永く愛し、またこの会に参加することで会員の皆様と故郷を語り合い有意義な時間を過ごしていきたいと思えます。

東京川西会の益々のご活躍、会員の皆様方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。



埼玉地区お花見に参加して



横浜市在住

大森 啓子

(犬川)

今年も楽しみにしていたお花見の朝、家をでる時少し寒さを感じながら出掛けました。

電車に乗り新井宿駅につきました。少し早く着きましたので駅前を散策しながら皆さんを待ってグリーンセンターに向かいました。



青空も見えて清々しい天気になり

皆と語りながらゆっくり歩いて、川口市立グリーンセンターさくら広場につきました。

先に広場に到着していた方達とブルーシートを広げ、宴の準備が出来ました。埼玉地区長の高橋さんと森田会長のご挨拶が終わり皆さんそろっての乾杯でお花見の宴が始まりました。持ち寄りの手料理を食べながら久しぶりの方たちと自然と会話が弾み楽しく盛り上がりました。

昼にはさくらの花も満開に咲き誇りすごく綺麗で素敵なお花見になりました。

ました。

帰りはゆっくりとお花見会場を回り、夕方帰途につきました。来年も皆さんお誘い合わせて大勢の方たちがご参加できますように。

神奈川地区行事・伊豆伊東温泉旅行に参加して



国分寺市在住

大木 安雄

(玉庭)

第三十二回いも煮会のご案内

謹啓 会員の皆様にはますます清栄のこととお慶び申し上げます。さて、「東京川西会」最大行事である「いも煮会」及び懇親会を左記の要領で開催致します。知人、友人お誘い合わせのうえご出席頂きますようご案内申し上げます。

記

謹白

◆日時 令和元年十月二十日(日) 午前十時より受付(小雨決行)

◆会場 秋川橋河川公園(あきる野市留原)

JR五日市線 武蔵五日市駅下車 徒歩5分

◆会費 大人三千五百円 会員外四千円 小中学生千五百円 幼児千円

(ビール、ジュース等の飲み物券セット)

- ・お楽しみ抽選会、お餅、郷土の特産品の販売等
- ・参加を希望される方は、同封のハガキにて十月八日必着でお願い致します。
- ・雨天等による決行の有無の問い合わせ 080・1321・3717 佐藤

アルカディアの里「東京川西会」会長 森田 光雄

六月五日水曜日、上野公園の横のバスターミナルに八時半集合で、全員揃ったところで九時出発、一路伊豆へと順調に向かいました。

乗り合いバスのため皆さん静かでした。そうこうしているうちに湯河原温泉に到着、一部のお客様を温泉宿に降ろしてあとは伊豆伊東温泉へと、六月初めの新緑の中を車は進みました。

十一時五十分ころには順調に飲食街に着き、お昼はラーメンにしようというところで中華そば屋に入りました。入った時はまだガラガラでしたが、十二時過ぎには団体客が到着しだし、あちこちの食堂が忽ち満員になっていきました。早めに店に入れたのが幸いでした。

ゆっくりと食事をとり、バスに戻って五分くらいで松川ホテル本館に到着しました。そこから二分ほど歩いて別館に着きましたが、時間はまだ十三時過ぎで予定の時間には早かったため、ロビーのソファで暫く休んでいると十四時過ぎに神奈川地区の皆さんが到着されました。

幹事さんがフロントの受付を済ませ、全員十五時前後に部屋に入りました。宴会まではまだ時間があつたので、テレビや風呂で時間を潰しました。

宴会場の席に着くと、二の膳まで

付いてきたのにはビックリしました。とても食べきれませんでした。



和やかで飲み放題の盛り上がった宴会もいよいよお開きとなりましたが、当然の如くに二次会に流れ、そこでも延々と酒宴が続きました。皆様の酒の強いのは恐れ入りました。寝所に辿りついたのは二十三時ころだったと思います。

翌朝は、七時半からの朝食を早々に済ませると、早速カラオケが始まりお昼近くまで続きました。

チェックアウトが終るとホテルの前で全員で記念撮影し、ホテルの裏通りで昼食を済ませました。バスの時刻まで本幹で時間調整し、乗車後は順調に東京へと向かい、上野駅に無事到着したところで解散となり家路につきました。



令和元年6月5日 神奈川地区東京川西会夏の旅行

幹事さん並びに関係者の方々に一方ならぬお世話になりました。本当に有難う御座いました。楽しい二日間でした。今回は群馬県伊香保温泉の予定とのことでしたので、また楽しみにしております。

会員のページ



上尾市在住
鈴木 茂
(玉庭)

8月の最初に、一生に一度はと念願していた富士登頂に初挑戦し、一回で3776mを極めることができました。

はとバスツアーに友人と参加してバスで五合目着。昼すぎから登りはじめ八合目で小屋泊りです。夜中に見た天の川は、夜空の真ん中に線を引いたように星々が密集し、ああ、子どもの頃にこの空を見たことがあると、寒さも忘れしばらく佇んでいました。

翌朝は雲海のかなたにご来光を仰ぎ、5時すぎに登頂開始。9合目あたりでは大きな虹とともにブロッケン現象に遭遇、僅かな時間でしたが大きな歓声がありました。後方からの太陽光が私の影を前方の霧の上に浮かべるのですが、その影はまば

農家発!! 愛情たっぷり

杵つきもち

(有)大塚もち加工センター

TEL:0238-42-5159 FAX:0238-42-5336

〒992-0601 山形県東置賜郡川西町大字西大塚1267-7

地元直産

第五十四回研修会のお知らせ

恒例の年末行事である、研修会と忘年会を左記要領で開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆ 日時 十二月七日(土) 十六時～

◆ 会場 大橋会館(03-3710-8880)

東京都目黒区東山 三二七-十一

東急田園都市線 池尻大橋駅下車

東口商店街を直進・徒歩3分

◆ 研修会講師

東京川西会顧問 笹木 俊雄 氏

◆ 忘年会・研修会終了後

(十七時十分～)

◆ 会 費 五千元

参加の有無は「いも煮会」の返信用ハガキの「研修会・忘年会」の欄にご記入下さい。参加者には、後日詳細案内をさし上げます。

会 長 森田 光雄

実行委員長 伊藤 健利

連絡 先 佐藤 誠

045(333)8368

ゆい虹に縁取りされて、不思議な、この世のものとも思えない美しさでした。

山頂では、食事のあとでお鉢廻り、

遂に念願叶って日本の一番高い地点に立つことができました。



感動の後は8合目に戻ってまた山小屋泊、三日目は5合目まで下り、麓での温泉を堪能して銀座で解散というコースでした。

一番心配したのは持病の痛風でしたが、幸い事なきを得て完遂することができました。温泉の後で、成功のビールを我慢したのは言うまでもありません。

事務局日より 新会員のご紹介

和田 敦子様 文京区在住(川西外)

庶務日誌抄

三月三十一日 埼玉地区行事 お花見

四月十五日 会報第八十号発行

五月十一日 役員会議(総会打合せ)

五月十九日 第三十三回定期総会

六月 五日 神奈川地区行事

伊東温泉旅行

六月十六日 ふるさと長井会総会 参加

七月十三日 正副会長会議(今後の活動)

七月二八日 東京飯豊会総会 参加
八月十一日 かわにし夏まつり 参加
九月 七日 黒べこまつり 参加

編集後記

今年も早々に九州北部や横浜、三重にレベル5の大雨特別警報が発令され、多数の床上浸水が発生するなど、自然災害が心配される季節となりました。台風による物的な被害も怖いですが、水路で流されたり一階で動けず犠牲になるケースも増えてきています。いかに安全を確保するか、賢明な対策をお願いいたします。

九月といえば、子どもの自殺が急増する特異な時期でもあるとのこと。日本財団の調査によれば、年間に30日以上学校に通えない不登校の中学生は10万人、一週間以上休んだり登校しても授業に出られないなどの不登校傾向にある子供を含めれば43万人、中学生320万人の8人に一人が困難を抱え、クラスに一人は不登校の子どもがいることになりました。

親が子どもに、「他人に迷惑をかけるように」と言うのをよく聞きますが、この言葉こそが子どもの成長を妨げる第一の理由ではないかと考えています。むしろ、「迷惑・失敗を恐れずに、他人の為になることをしなさい」と言ってほしい、そのため

には自分から関わる勇気が必要で、この勇気こそが子どもにとって最大の栄養になるのではないかと思っています。ただし、言う大人が自ら実践していかなくては逆効果です。大人がもう一回子どもを鑑みながら、地域等に尽くし、なぜ行うかを話して行きたいと思えます。

東京川西会 会報 No.八十一号
発行「アルカディアの里」東京川西会
発行責任者 会長 森田 光雄
編集人 広報委員長 鈴木 茂
連絡先 事務局長 佐藤 誠
〒240-0015
横浜市保土ヶ谷区岩崎町十八四八
TEL・FAX 045-333-8368

献上 小倉羊羹本舗
http://www.mnisikiya.jp
山形県川西町上小松 1509
TEL 0238-42-2636
錦屋
国の登録有形文化財